

課金装置の補助対象経費承認申請書

平成27年 月 日

一般社団法人次世代自動車振興センター
代表理事 田中 利明 殿

住 所
名 称
代表者

社印・代表者印

平成26年度補正「次世代自動車充電インフラ整備促進事業費」補助対象経費として下記課金装置を申請致します。

記

1. 申請する装置(必要に応じ、該当項目に○。空欄には説明文・数字等を記載・記入。)

型式および名称(ある場合):

装置の稼働に必要な電力

定格入力電圧・電流 : 単相・三相 AC100/200 V Hz ・ ()A

定格消費電力 ()W以下

適合配線仕様 : 電源()、制御()、長さ一限度()m

電源SW : 有 ・ 無 ()

課金方式 : ・ フェリカ等カード式 、 ・ クレジットカード式 、 ・ 電子マネー式 、 ・ 現金課金式

課金表示 : (表示内容) 、 つり銭対応 有 ・ 無

課金方式・機能に関する詳細の説明

(例) 認証方式や対応するインフラ会社名、受け入れ可能貨幣、つり銭機能、料金設定方法、データメモリー、充電時間対応、決済タイミング等について説明

[]

防盜装置 : ()

製品寿命 : ()年 メーカー保証年数 : 設置後()年

保守対応期限 : 製造中止後()年 メンテナンス時期 : 設置後()年から()定期

防水性能 : IP () 作動周囲温度 : -()°C~()°C 標高 : ()m以下

設置方法 : 自立式 / 接続対象となる充電器の(・ 内部 ・ 外部)に取り付け。

重量 : ()kg

充電器との接続標準時間 : ()h/人 課金自体の標準設置時間 : ()h/人

その他設置に関する内容についての特記事項 (例 : 工事施工会社を指定する場合とその理由等)

[]

2. 接続対象となる充電器（必要に応じ、該当項目に○。空欄には数字等を記入。）

メーカー名 (複数ある場合は全て記載)	区分 普通・急速	型式

以下確認済であることを申告します。

- 1) 本課金装置を上記充電器に接続した場合、充電器の性能に影響のないことをメーカーに確認済です。
確認方法は以下に示す通り。

例: 充電器メーカーに本課金装置を持ち込み実証実験を行い、問題なきことを確認した。

*

- 2) 本課金装置を上記充電器に接続した場合、充電器の保証期間が短縮されることのないことを充電器メーカーに確認済です。

3. 課金装置の販売について（消費税を除く）

本体価格 円
 補助対象となる価格 円
 メンテナンスコスト 円
 販売もしくは受注開始予定日: 平成27年 月 日 予定
 販売計画台数 台/月

7. 販売関連書類の準備状況

(完了項目に○を記入。申請迄に完了していない場合は、完了予定時期を記入。)

装置仕様書・図面	機器カタログ・パンフレット	取扱説明書
設置要領書 (保守スペース・基礎寸法等)	納品書・銘版サンプル資料 (製造番号・型式表記方法等)	

その他資料

[]

8. オプション(補助対象外部分)

[]

以上